

# 宮の森記念病院 臨床指標(2023年)

## ○患者満足度(外来)

アンケートの結果、医師と看護師の対応について「満足」または「やや満足」と回答した患者様の割合(%)を示しています。

	満足	やや満足
医師	68.3%	24.0%
看護師	52.9%	37.5%

## ○患者満足度(入院)

アンケートの結果、医師と看護師の対応について「満足」または「やや満足」と回答した患者様の割合(%)を示しています。

	満足	やや満足
医師	63.5%	25.7%
看護師	25.7%	32.7%

## ○死亡退院患者率

退院患者様のうち死亡退院となった方の割合(%)を示しています。

患者様の治癒、軽快を目指し治療に当たっておりますが、高齢患者様の増加による疾病構造の急速な変化に伴い、上昇傾向にあります。

**10.45%** [=死亡退院数 74 名÷退院患者総数 708 名×100]

## ○転倒・転落発生率

入院患者延べ数に占める転倒・転落発生数の割合(%)です。、認知症状や歩行困難が見られる高齢者の入院が多い病院では、相対的に発生危険因子が多くなります。定期的な事例検討や環境改善を実施し、発生率の抑制に取り組んでおります。

**1.6%** [=転倒・転落発生数 55 件÷入院患者延べ数 34,194 名×1000]

## ○転倒・転落による損傷レベル 2 以上の発生率

**0.38%** [=損傷レベル 2 以上 13 件÷入院患者延べ数 34,194 名×1000]

※レベル 1=損傷なし、レベル 2=軽度、レベル 3=中軽度、  
レベル 4=重度、レベル 5=死亡、レベル 6=判定不能

## ○転倒・転落による損傷レベル 4 以上の発生率

**0.06%** [=損傷レベル 4 以上 2 件÷入院患者延べ数 34,194 名×1000]

## ○褥瘡発生率\_d2 以上の院内新規褥瘡発生率

長期療養で体動が困難になると、圧迫された皮膚が循環障害を来し、一般的に床ずれと言われる褥瘡(じょくそう)が発生します。褥瘡の発生は、患者様の QOL の低下を招きます。褥瘡の原因は、栄養状態、清潔管理、細菌感染など多岐に渡ります。個々の患者様の状態観察や予防策を講じ、発生率の抑制に取り組んでおります。

**0.0009** [=d2 以上の新規発生患者数 32 名÷入院患者延べ数 34,194 名]

※d2＝褥瘡の深さの区分で、真皮までの損傷があることを表しています。

## ○インシデント・アクシデント発生件数・率\_入院

各部署からの滞りのないインシデント・アクシデント報告を通じて、組織的に再発防止のための検討や対策を講じております。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1カ月の発生件数	42	43	44	29	41	49	33	45	30	54	54	31
100床当たり発生率(%)	38.2	39.1	40.0	26.4	37.3	44.5	30.0	40.9	27.3	49.1	49.1	28.2

[100床当たり発生率＝入院患者月別インシデント・アクシデント報告件数×100÷許可病床数 110]

## ○インシデント・アクシデントの全報告件数に占める医師報告件数の割合

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
医師による報告件数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
全報告件数	42	43	44	29	41	49	33	45	30	54	54	31
医師の占める割合(%)	0	0	0	3.5	0	0	0	2.2	0	0	1.9	0

## ○職員におけるインフルエンザワクチン接種率

**26.0%** [=接種した職員 55 人÷全職員数 208 人×100]

## ○血液培養実施時の 2 セット実施率

重篤な感染症を防ぐため、感染症の初期段階で、速やかに病原菌を特定し治療に適正な抗菌薬を選択することが重要となります。病原菌の検出感度を高めるために、血液培養検査を 2 セット施行することが推奨されております。

**79.0%** [=2 セット数÷採取セット数×100]

# 宮の森記念病院 診療実績(2023年)

## 〈外来患者数\_年別推移〉

外来患者(保険診療)に関する年別推移を示しています。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、初診患者数が増加しております。一方で、再診患者数については、コロナ禍での受診控えや受診頻度の減少に加え、ご高齢の方の通院困難に伴う在宅医療への移行により、漸減しております。

診療科	2020年	2021年	2022年	2023年
診療日数	269日	269日	266日	268日
合計	19,414人	18,424人	17,785人	17,483人
初診	1,113人	1,243人	1,736人	1,911人
再診	18,301人	17,181人	16,049人	15,572人
一日平均	72.2人	69.4人	67.0人	65.2人
初診	4.1人	4.7人	6.5人	7.1人
再診	68.0人	64.7人	60.4人	58.1人

## 〈入院患者数\_年別推移〉

病床数 110床 [急性期 46床(うち地域包括 6床)、回復期 46床、療養 18床]

新型コロナウイルス感染症の市中における流行拡大や、院内クラスターの発生等に伴い、入退院制限を余儀なくされ、2021年以降の患者数が漸減傾向にあります。さらに2021年12月からは新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定され、専用病床の確保及びゾーニングに伴う一部休床化により、在院患者数が減少しております。

### ○在院患者数

	2020年	2021年	2022年	2023年
全病棟	38,477人	36,516人	33,324人	34,914人
一般	16,145人	14,247人	11,348人	12,299人
回復期	15,849人	15,733人	15,435人	15,602人
療養	6,483人	6,536人	6,541人	6,293人

### ○在院患者数(一日平均)

	2020年	2021年	2022年	2023年
全病棟	105.4人	100.0人	91.3人	95.7人
一般	44.2人	39.0人	31.1人	33.7人
回復期	43.4人	43.1人	42.3人	42.7人
療養	17.8人	17.9人	17.9人	17.2人

○病床利用率、病床稼働率

	2020年	2021年	2022年	2023年
病床利用率	95.8%	90.9%	83.0%	85.1%
病床稼働率	97.3%	92.4%	84.3%	88.6%

病床利用率 = のべ在院数÷のべ運用病床数

病床稼働率 = (のべ在院数+退院数)÷のべ運用病床数

○新入院、退院患者数

	2020年	2021年	2022年	2023年
新入院	566人	553人	526人	678人
退院	573人	564人	535人	657人

○新入院、退院患者数(一日平均)

	2020年	2021年	2022年	2023年
新入院	1.6人	1.5人	1.4人	1.9人
退院	1.6人	1.5人	1.5人	1.8人